

蒔絵 — MAKI-E —



漆器
山田平安堂
YAMADA HEIANDO

蒔絵 (MAKI-E) ?

漆器の表面に絵や文様、文字などを描き、それが乾かないうちに金や銀などの金属粉を「蒔く」ことで器面に定着させる技法。この技法は1200年ほど前から行われている、漆器の伝統的絵付け方法。

漆器の名門”山田平安堂”とドイツのシュトルツル ラウジッツとのコラボレーションにより、日本の伝統的漆器の技法をレッド フリー クリスタルで再現した、蒔絵グラスです。

蒔絵 タンブラー：炎（金・銀）・ 輪（金・銀） ペアーセット 各 ¥10,000

タンブラー素材：レッド フリー クリスタル（無鉛クリスタル）ドイツ製
“蒔絵” 絵付け：山田平安堂（ハンドクラフト）
サイズ：φ8.5cm × H.12cm 容量465ml

炎 Flame (Passion・情熱)

GOLD

SILVER



輪 RING
(Relation・つながり)

GOLD

SILVER



山田平安堂

1919年創業以来、漆器専門店として、伝統の継承と革新に取り組んでおり、宮内庁御用達を拝命、世界各地の大使館などの公館でも使用されている漆器の多くを納めています。品質へのこだわり、長い歴史の中ではぐくまれた普遍的な美である漆器を、現代のライフスタイルに合わせた、新しい提案を続けています。

Stolze Lausitz

1889年創業の伝統的ガラス工場に最新のテクノロジーを導入、伝統に培われたクラフトマンシップと最先端技術を融合させることにより、高品質な製品を作り続けている、ドイツの大手メーカー。近年の環境維持の高まりを考慮、いち早く、鉛を入れずにクリスタルと同様の透明度と輝きを持つ”レッド フリー クリスタル”(無鉛クリスタル)をつくり出しています。